



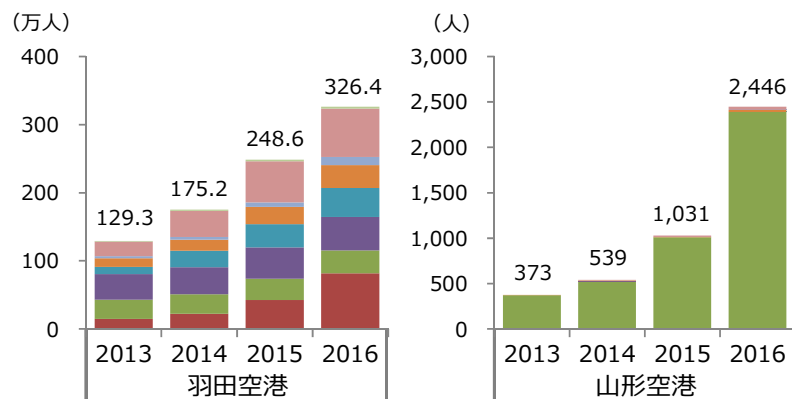
「数字で見る山形県山形市のインバウンド」



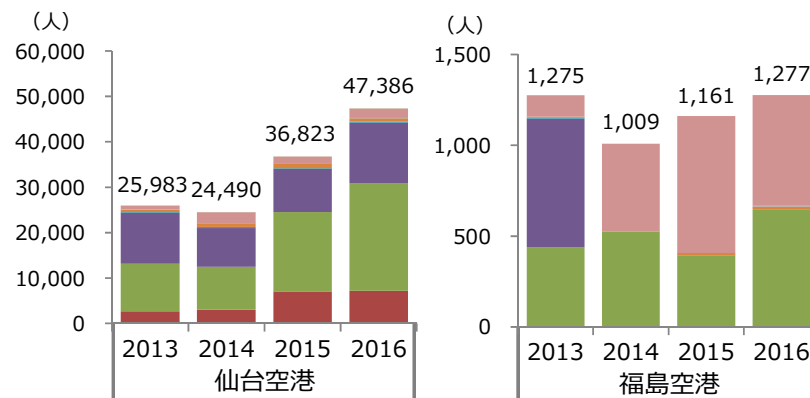
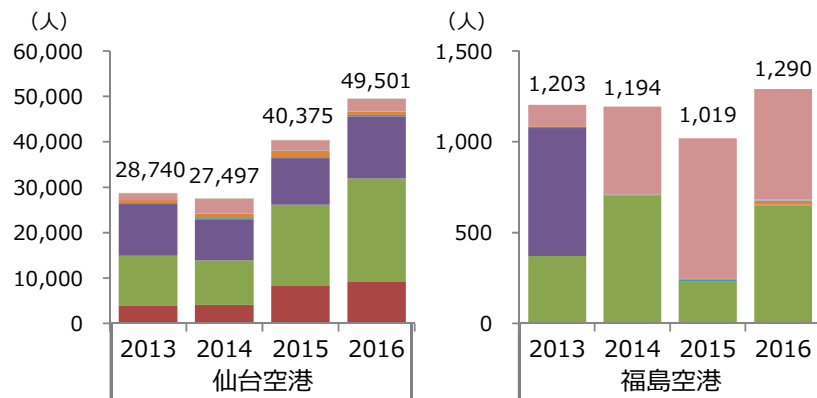
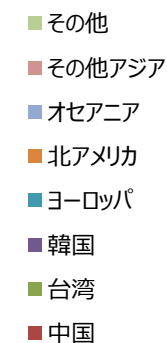
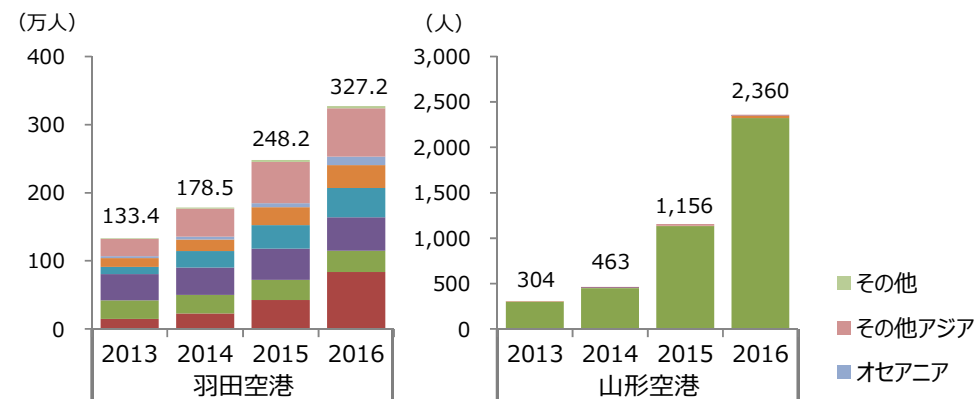
空港別／国・地域別訪日旅行者数（１）

- ◆ 山形につながる玄関口としての空港は、東京方面からの羽田空港、最寄りの山形空港、東北地方の空港として比較的近距離である仙台・福島空港がある。
- ◆ 羽田・山形空港は2013年から、仙台空港は2014年から入国者・出国者ともに増加している。一方、福島空港は横ばいとなっている。
- ◆ 羽田空港は世界中から幅広く来訪している。一方、地方空港はLCC（格安航空会社）の就航路線の関係で、山形空港はほぼ全員が台湾、仙台空港は台湾・韓国・中国、福島空港は台湾とその他アジアが多い。

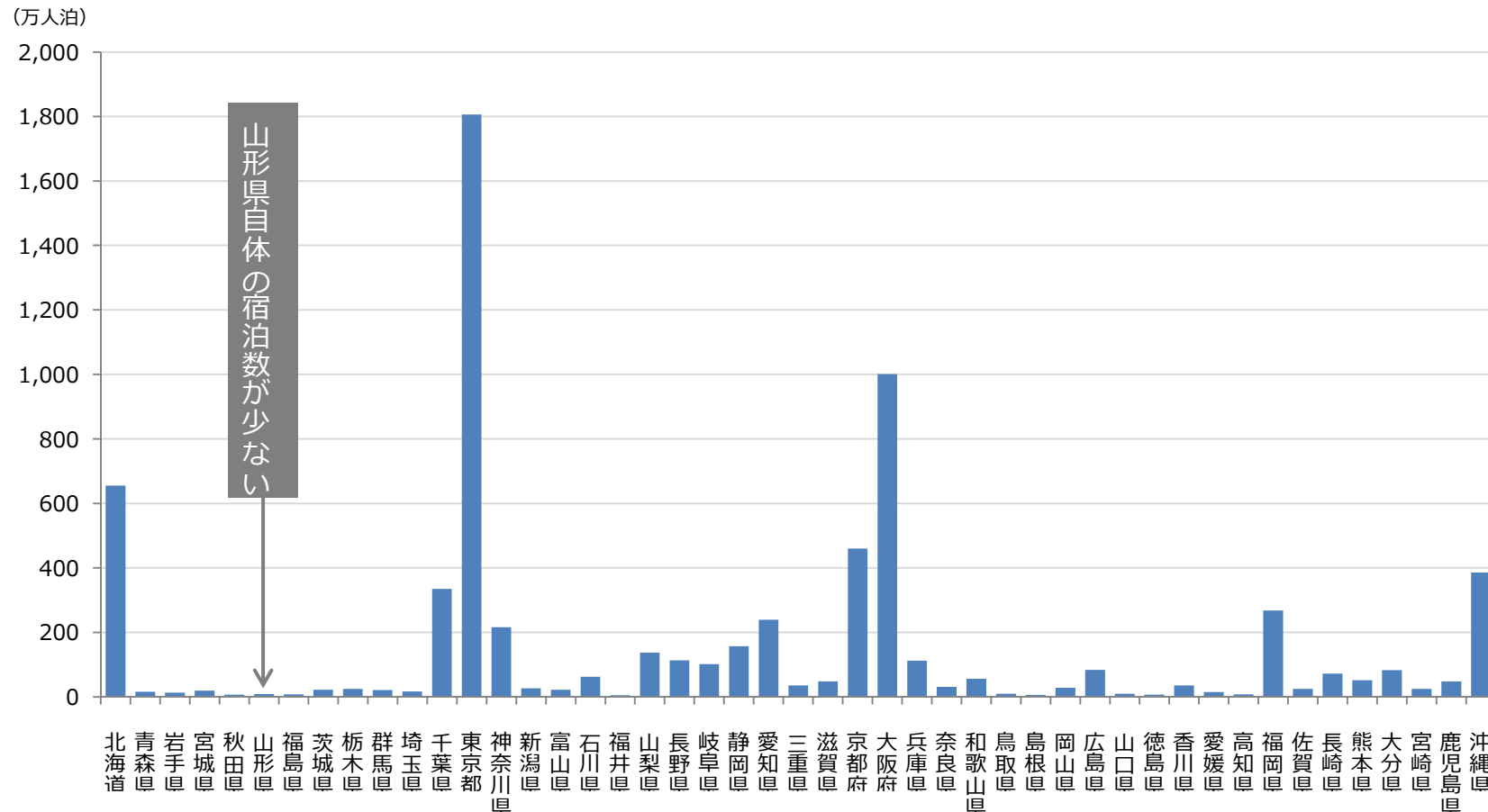
空港別 国・地域別入国者数



空港別 国・地域別出国者数



県別外国人宿泊数

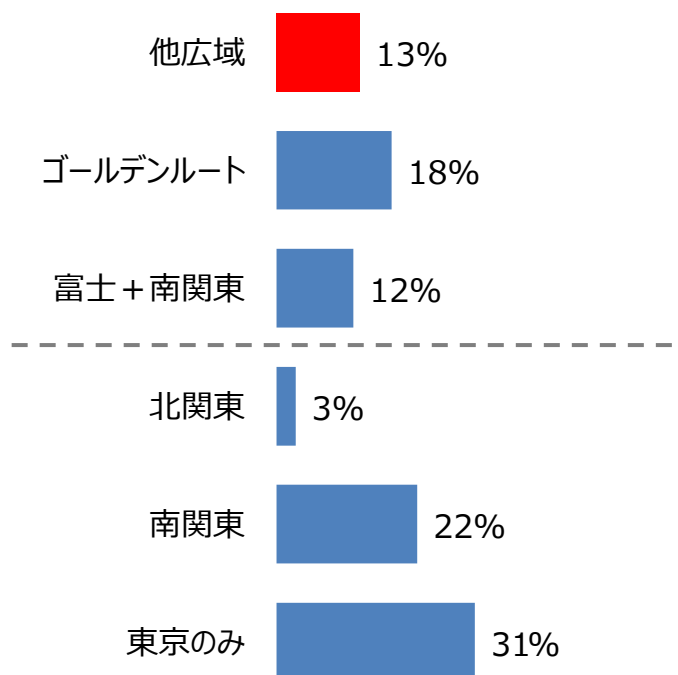


※2016年 延宿泊者数（1人が2泊した場合2人とカウント）

首都圏、及び関西で入国した訪日客の訪問地

- ◆ 首都圏2空港で入出国した旅行者の訪問地は、31%が東京のみ、22%が南関東で、他広域は13%となっている。

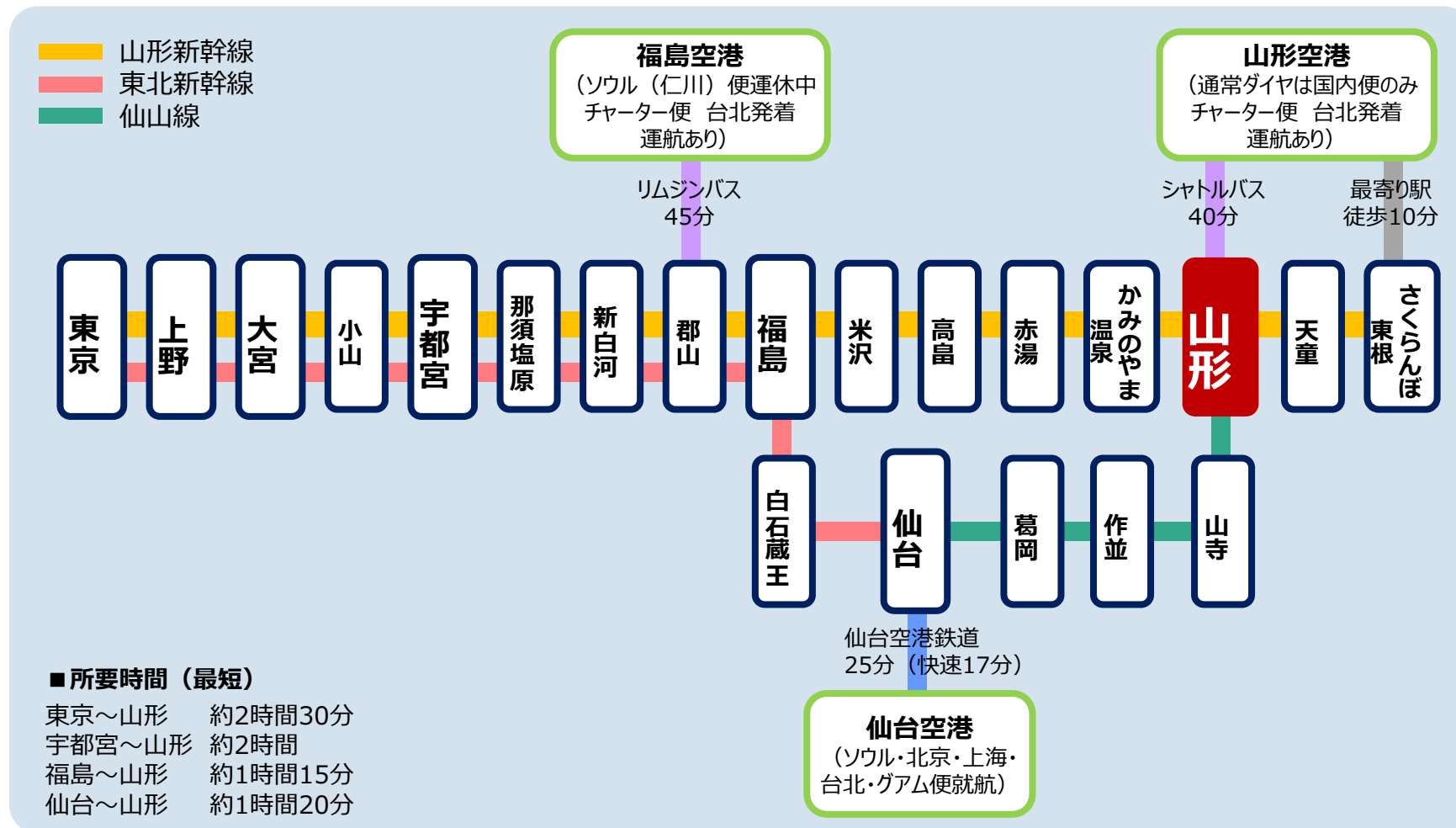
首都圏2空港で入出国した旅行者の訪問地



※観光庁「訪日外国人消費動向調査」2014年のデータを用いて首都圏2空港で入出国した旅行者がどのような地域を周遊したか分析したもの。
ゴールデンルートとは首都圏と関西の両方を訪問するパターンを指す。

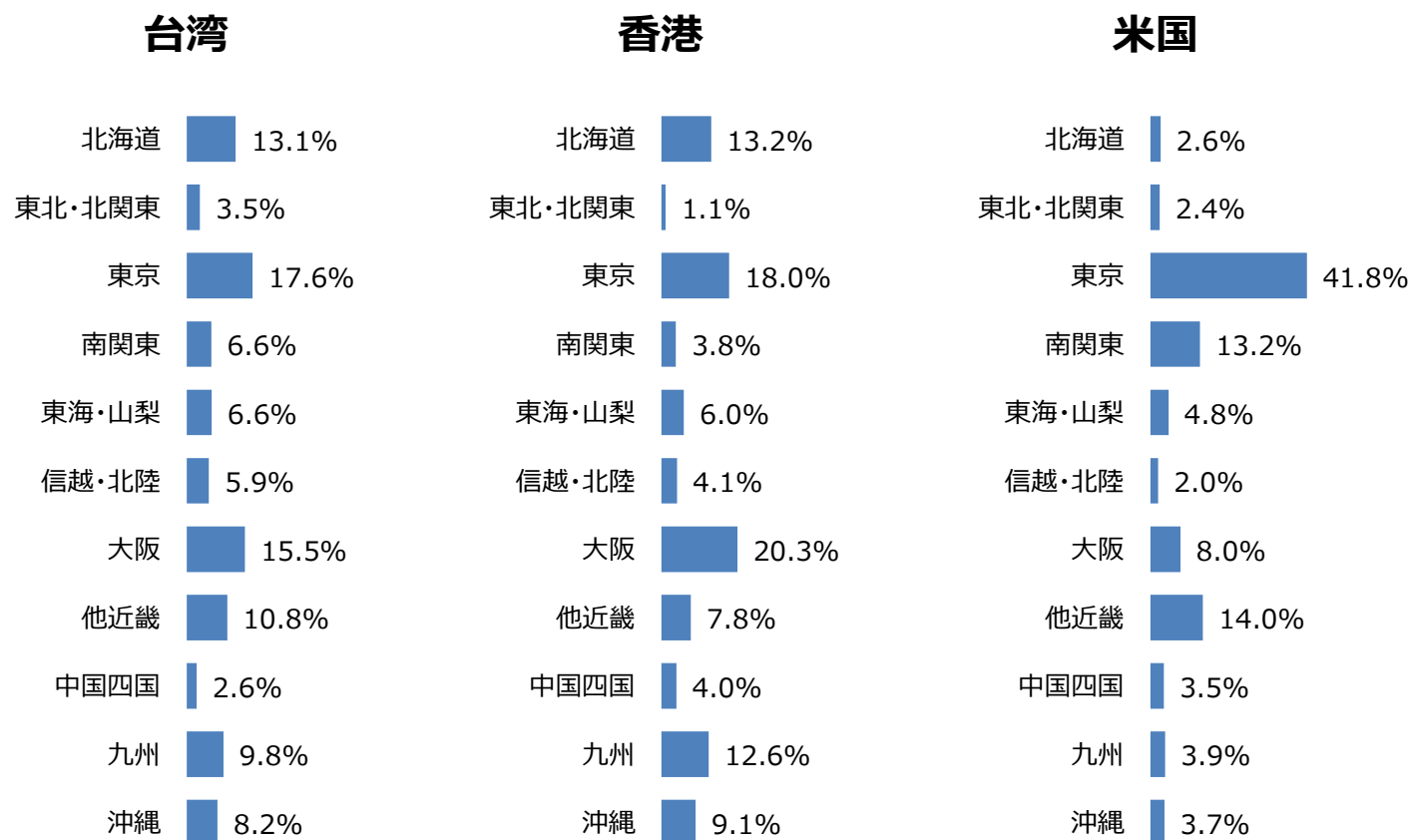
山形の誘客ルート

- ◆ 主なインバウンド客の誘客ルートとしては、東京方面から山形新幹線によるルート（東京⇒山形間 最短約2時間30分）と、山形空港から直接来訪するルート、福島・仙台空港からのルートが考えられる。
- ◆ 山形空港は現在通常ダイヤは国内便のみだが、台北発着のチャーター便を運航している（2017年10・11月は計16便）。



主な国籍別にみた外国人の宿泊地の分布

- ◆ 山形市に来訪していると考えられる主な国籍の旅行者の宿泊地分布をみると、台湾と香港は分散傾向が強く（リピーターが多いため）、逆に米国は東京に集中している。

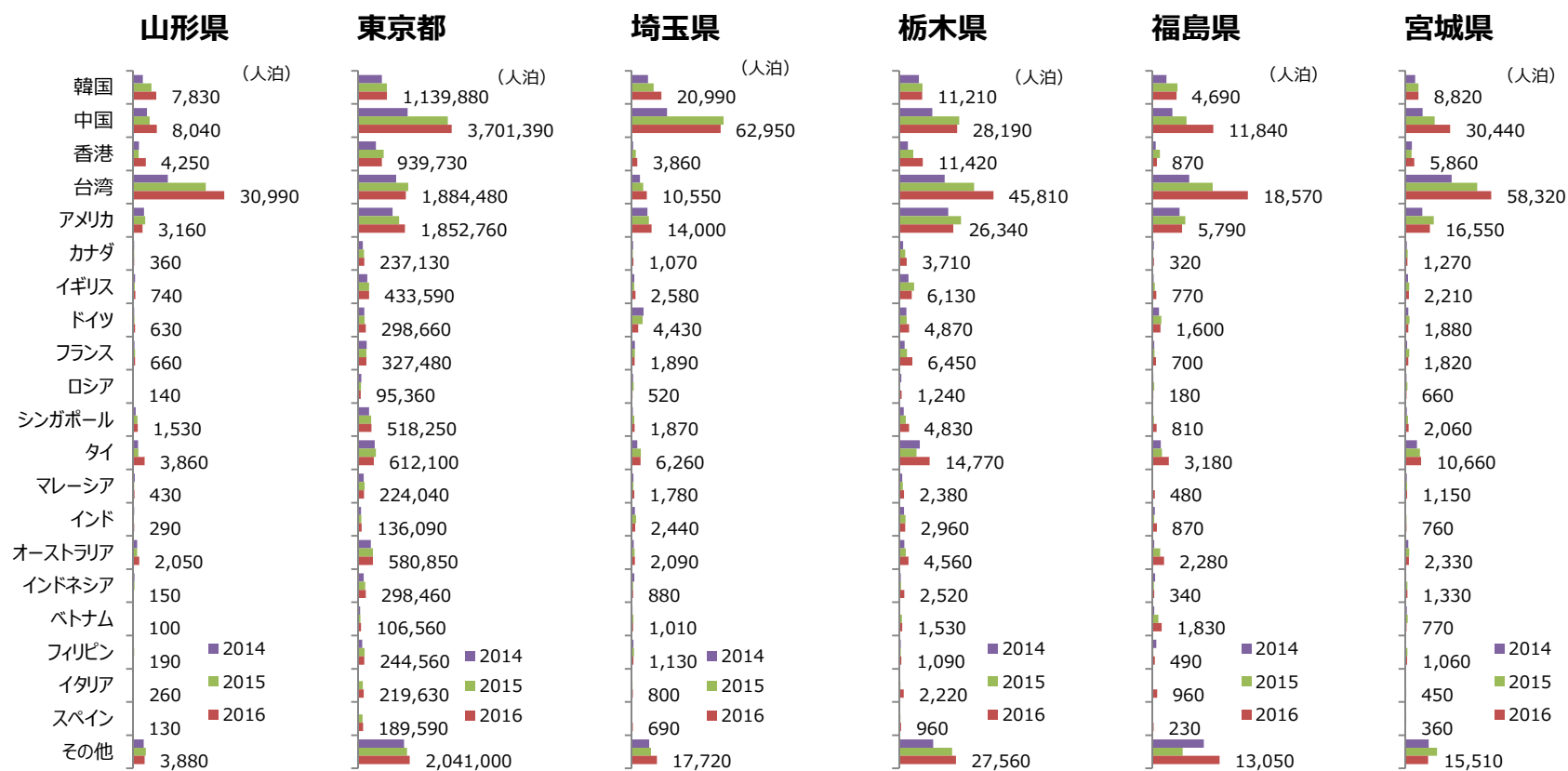


※2015年11月～2016年10月の数値

山形県及び近隣都県のインバウンド概況（1）

- ◆ 山形県内の宿泊施設に2016年に宿泊した外国人の国籍は、台湾が3万1千人泊で最も多く、中国が8,040泊、韓国が7,830人泊、香港が4,250人泊で続く。
- ◆ 上位4か国は過去3年間増加しており、特に台湾は伸びが著しい。
- ◆ 東京都と埼玉県は中国、栃木県、福島県、宮城県は台湾が最も多く、過去3年はおおむね増加傾向にある。

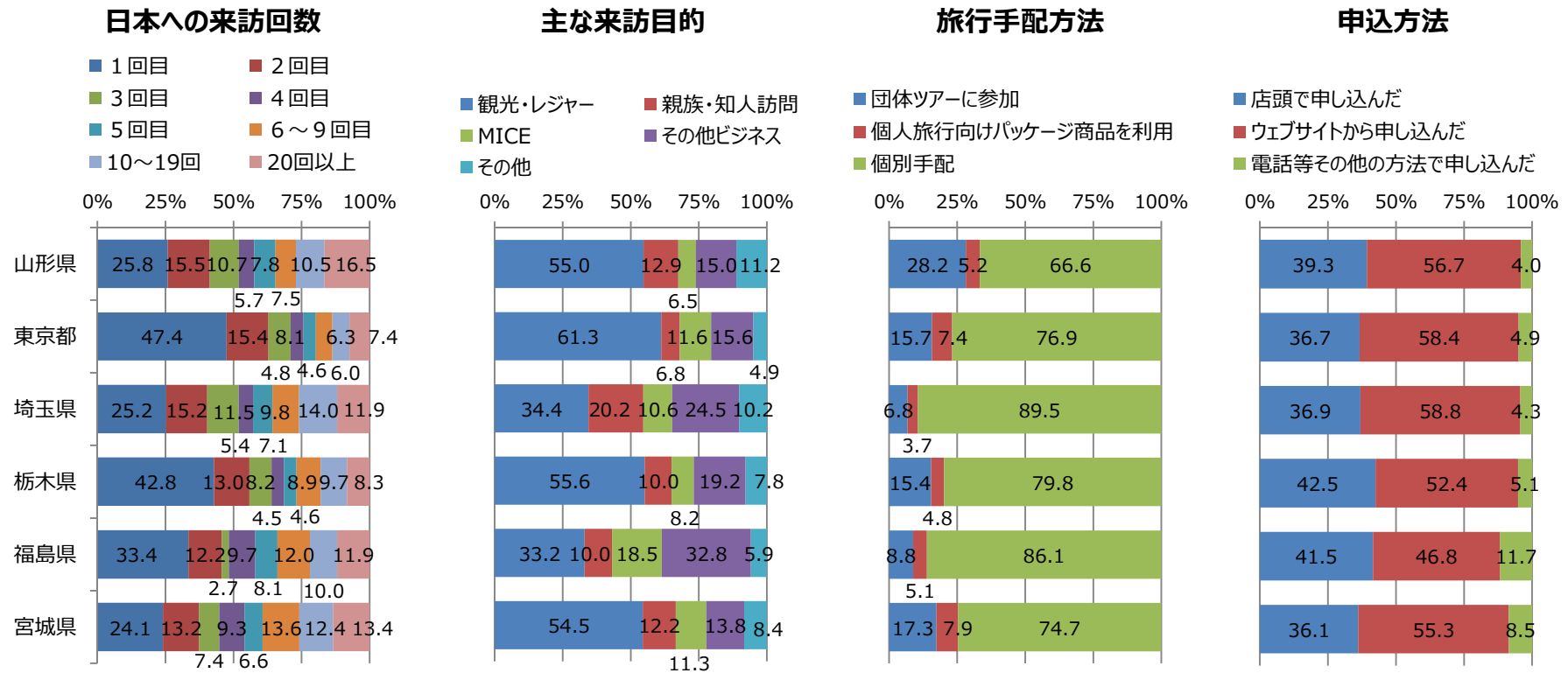
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数



※数値は2016年
※イタリア、スペインは2015年から追加

山形県及び近隣都県のインバウンド概況（２）

- ◆ 山形県及び近隣都県を訪問した外国人の来日回数をみると、東京都と栃木県は初来日が4割台と高いが、埼玉県と山形県は4人中3人が2回目以降のリピーターとなっている。
- ◆ 主な来訪目的は、全ての都県で「観光・レジャー」が最も高いが、福島県と埼玉県では3割台にとどまり、ビジネス目的や親族・知人訪問が多くなっている。
- ◆ 訪日旅行の手配方法は、全ての都県で「個別手配」が最も多いが、山形県は「団体ツアー」が3割弱と比較的多い。
- ◆ 申込方法は、ほとんどの都県で「ウェブサイト」が過半数を占めるが、栃木県は「店頭」、福島県は「店頭」と「電話等その他の方法」での申し込みが比較的多い。

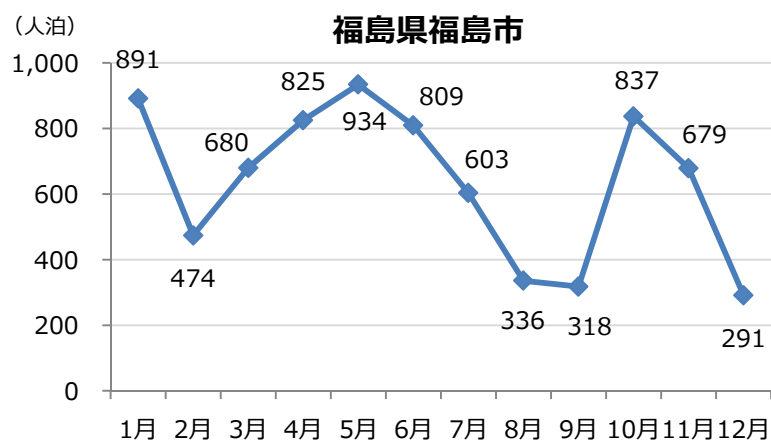
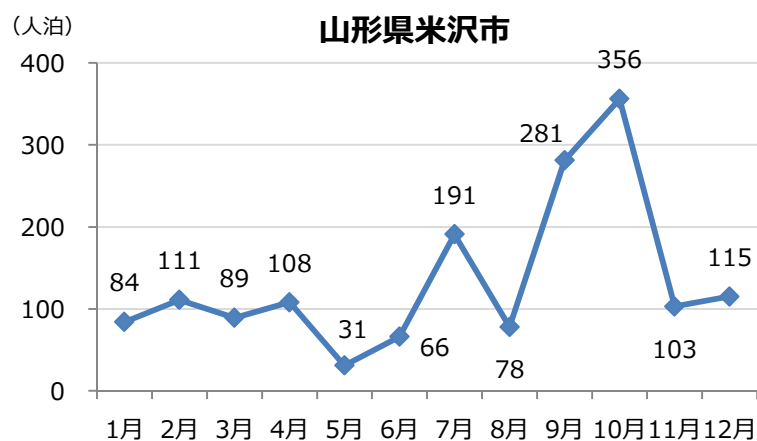
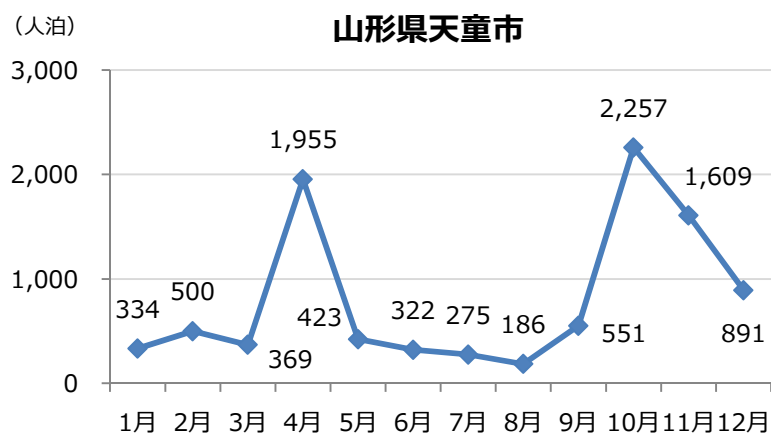
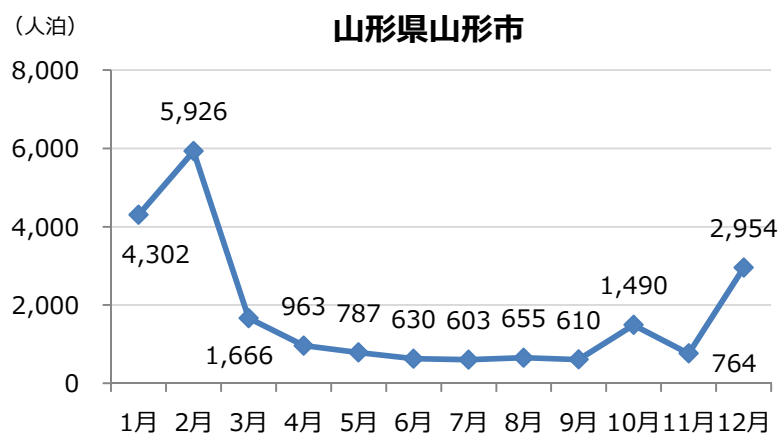


※「MICE」は「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」、「その他ビジネス」は「研修」「その他ビジネス」、「その他」は「観光・レジャー」「親族・知人訪問」及び左記以外の計

各自治体の月別インバウンド概況（1）

- ◆ 外国人宿泊客の月ごとの動向をみると、山形市は2月が特に多く、1月、12月と続き、冬期の宿泊者が多かった。一方、春・夏期は少なかった。
- ◆ 天童市は4・10・11月、米沢市は9・10月が多かった。
- ◆ 福島市は1・5・10月にピークがあり、8・9月は少なかった。

施設所在地別外国人延べ宿泊者数（2016年）



各自治体の月別インバウンド概況（2）

- ◆ 郡山市は3・4・10月が多かった。
- ◆ 仙台市は10月が特に多く、4月が続き、年間を通じて5千人泊を超えている。

施設所在地別外国人延べ宿泊者数（2016年）

